

高齢者の
社会参加を
応援しています

年賀はがきが発売される時期になりましたね！
みなさんは、もう準備されていますか？

最近では年賀状よりスマホアプリでごあいさつ…という方も増えているようです。

新年のごあいさつの方法はいろいろありますが、相手の顔を思い浮かべながら準備するのも楽しいですね♪

ささえあい通信

平野区社会福祉協議会

Vol.29

聞こえの元気



加齢に伴う聞こえの変化は誰にでも起こりえます。耳が聞こえづらくなると、家族や友人とのコミュニケーションが困難になり、会話の楽しさが失われ、次第に社会的孤独を感じやすくなります。

さらに、人と話す機会や社会との交流が減ると、脳への刺激も減り、認知症になるリスクを高めると言われています。聞こえづらさを放置せず、ご自身やご家族の「聞こえ」に早めに関心を持つことが、いきいきとした毎日を送るための大切な一歩です！

耳が少し聞きづらく感じても、会話を楽しめる方法はたくさんあります。

スマートフォンやタブレットで使えるコミュニケーションアプリを試してみるのはいかがでしょうか？

会話内容を文字で見やすく表示したり、声を大きく聞きやすくしてくれたりするアプリがあります。

ぜひ、あなたに合うアプリを探して活用してみてくださいね！



私たちささえ愛支援員は、平野区内23地域の皆さんと一緒に、地域での居場所やつながりづくりの場をつくるお手伝いをします。

瓜破東住宅での手話サロン 地域と人々の繋がりを紡ぐ

瓜破東住宅2号館の集会所で開かれる「ふれあい喫茶すぎの子」には、聴覚障がいのある方（ろう者）も参加されています。参加者から「手話でお話ししてみたい」「耳が遠くなってきたので手話を覚えたい」という声が寄せられ、自治会長さんから「手話サロンを開けないか」とご相談をいただきました。そこでボランティア・市民活動センターを通じ、「手話サークル花実^{かじつ}」さんの協力を得て、手話や手話歌を楽しく学ぶつどいの場「手話サロン」が誕生しました。

「手話サロン」で生まれた出会い 広がる手話の輪



手話を学ぶ集いの場には、瓜破東住宅2号館にお住まいの方を中心に多くの方が参加されています。その中には、かつて手話ボランティアをされていた方もおられ、話が進むうちに、その方とろう者の方が同じ棟に住んでいることが判明！長年近くに住みながらも、手話ができる人が近くにいたことを初めて知り、大変喜ばれました。

今ではお2人で喫茶にも参加され、自治会長さんは「開催して本当に良かった」と笑顔で話されています。

手話サロンは「ボランティアの皆さんの指導が楽しく、大変良い経験になっている」と参加者からも喜ばれています。また回を重ねるごとに参加する人が増え、「時間を延長してほしい」「開催回数を増やしてほしい」といった声も寄せられています。



手話を学ぶ場にとどまらず、人と人をつなぐ地域の新しい交流の場となっています。これからも笑顔と温かいつながりが広がっていくことを願っています。

社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会
平野区ささえ愛支援員（生活支援コーディネーター）
担当：中西・蓬萊・向畑・岡田・坂本
547-0043 大阪市平野区平野東2-1-30
平野区在宅サービスセンター（にこにこセンター）
TEL 06-6795-2525 FAX 06-6795-2929
●開館時間：平日9：00～19：00（土曜日17：30まで）
●休館日：日・祝・年末年始

